

MISUMI flow導入によって資材発注のコストが最適化
在庫管理コスト年間1,900万円減少、発注業務は80%減少

MISUMI
flow

株式会社 山田製作所



社名 株式会社山田製作所
業種 自動車部品
従業員数 1,422人

株式会社
山田製作所様の
インタビュー全編は
こちら →



Point



時間削減効果：発注作業時間年約80%削減



コスト削減効果：商品集約で年間1,900万円コスト削減



データ活用効果：使用量データ活用(製造コスト確認修正、製造ライン異常検知)

導入前の課題

購入先による資材の購入価格差や、余剰発注、在庫増が常態化していた

齋藤さま：同社では、部門ごとに消耗品などの資材を購入していたため、購入先の違いによる価格差や余剰発注、在庫増が常態化し、保管スペースの確保も必要となっていました。

竹内さま：週末や夜間の勤務時には、資材保管場所が施錠されているために資材の取り出しができず、作業が停止する問題が発生していました。特に、資材保管場所が別棟の場合、天候の影響で持ち出しが困難で、冬場には「赤城おろし」の寒さの中で資材補充をしなければならないことがありました。

導入の決め手

在庫削減や配送時間削減、適正在庫、発注業務負荷軽減などのメリットが最大化できると判断、導入しやすさも決め手の一つに

岡崎さま：弊社のアメリカ工場でも自動販売機による「消耗品の見える化」が効果を挙げていました。日本の工場でも在庫削減や配送時間の短縮、適正在庫の確保、発注業務の負荷軽減などのメリットを最大限に活用しようと考え、導入に至りました。

齋藤さま：他社の在庫管理システムも検討しましたが、MISUMI flowは、自社で使用しているICカードで商品の取り出しが可能のため、導入しやすかった点も導入の決め手となったポイントです。

導入後の効果

購入価格の平準化や在庫管理業務効率化により在庫管理コスト年間1,900万円減少、発注業務は80%減少

齋藤さま：MISUMI flowの導入により、購入先の統一が進み、価格差が解消されました。この結果、在庫管理コストが年間1,900万円減少し、発注業務は80%も削減されました。

竹内さま：資材の持ち出し時間の制限がなくなり、生産活動が止まることなくなくなりました。また、資材持ち出し時間が短縮されたことで生産性が向上し、さらに資材保管場所が近くなったため、必要な分だけ持ち出せばよくなり、利便性が向上しました。

社内の反応

日々の業務改善やスキル向上、突発的な業務へのサポート対応などに時間を割けるようになった

齋藤さま：自販機導入によって削減された時間は、日々の業務改善をする時間に活用しています。結果、社内の改善のための解析に時間を活用することができ、改善スピードが向上しました。

竹内さま：突発的な業務にも対応できるようになり、周囲のサポートを行うことができるようになりました。現場からは、現在商社から購入している資材についても、ミスミから購入できないかという要望の声が寄せられています。

今後の展望

購買データの活用によりさらなる効率化を進めていきたい

岡崎さま：今回の導入により、工場内の資材の「在庫削減・配送時間削減・使用量のトラッキング評価(ムダの廃止)・発注書管理レス」などのメリットが得られました。今後は、これらのメリットを最大化するため、購買データ活用からの効率改善を進め、グローバル展開も合わせて進めていきたいです。

また、自動販売機のデータを社内システムに取り込み、消耗部品管理もシステム化していきたいです。

